

科目名	臨床病態学Ⅱ (Clinical Pathophysiology Ⅱ)			科目コード	157
開講学科	看護学科・ 臨床検査学科	選択区分	必修	単位数(時間)	1単位(30時間)
科目区分	専門基礎科目	履修時期	2年次後期	関連DP	看③、臨②
担当教員	脇坂 浩之、草薨 康城、竹内 一人				
授業概要	成人に特徴的な各種の疾患の病態生理、診断法、治療法、予後について教授する。(オムニバス方式) (脇坂教授) 腎臓や甲状腺・副腎の主たる重要疾患および乳癌の病態生理、診断法、治療法、予後について手術侵襲に伴う負の生体反応が生じる外科的治療法の観点から教授する。また、高齢者に比較的多い運動疾患についての病態生理、診断と治療(リハビリを含む)と予後について講義する。 (草薨教授) 女性生殖器疾患の特徴と病態生理、診断法、治療法、予後について教授する。 (竹内教授) 感染症、膠原病、アレルギー疾患、血液・造血器疾患の特徴と病態生理、診断法、治療法、予後について教授する。				
授業目標	医療従事者として、実際の現場において、医師、薬剤師、理学療法士、介護福祉士などのスタッフと密な連携をとって行動できるよう、個々の疾患について疫学、病態、発症機序、症候、経過、治療、予後など医療に携わるうえで必須な臨床医学の知識を身につけることを目標とする。				

授業計画

回	項目	内容	担当者
1	腎疾患	急性・慢性腎不全の病態生理と診断法・治療法・予後 急性糸球体腎炎、慢性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群の病態生理と診断法・治療法・予後	脇坂浩之
2	乳癌	乳癌の病態生理と診断法・治療法・予後	
3	代謝疾患	高脂血症・痛風の病態生理と診断法・治療法・予後	
4	内分泌疾患(1) 甲状腺	甲状腺機能亢進症・低下症および甲状腺癌の病態生理と診断法・治療法・予後	
5	内分泌疾患(2) 副腎	副腎皮質ホルモンの異常にもとづく疾患(クッシング症候群、アジソン病等)の病態生理と診断法・治療法・予後	
6	運動器疾患(1)	骨折総論・各論(上肢、下肢及び脊椎の骨折の病態生理と診断法・治療法・予後)	
7	運動器疾患(2)	骨・関節の炎症性疾患、変性疾患などの病態生理と診断法・治療法・予後	
8	感染症	感染症の病態生理と診断法・治療法・予後	竹内一人
9	膠原病	膠原病の病態生理と診断法・治療法・予後	
10	アレルギー疾患	アレルギー疾患の病態生理と診断法・治療法・予後	
11	血液・造血器疾患	血液疾患の病態生理と診断法・治療法・予後	
12	女性生殖器疾患(1)	子宮頸部疾患(子宮頸癌等)の病態生理と診断法・治療法・予後	草薙康城
13	女性生殖器疾患(2)	子宮体部疾患(子宮筋腫・子宮体癌等)と病態生理と診断法・治療法・予後	
14	女性生殖器疾患(3)	付属器腫瘍の病態生理と診断法・治療法・予後、性の分化異常・性器位置異常の診断と治療	
15	女性生殖器疾患(4)	性感染症・子宮内膜症の病態生理と診断法・治療法・予後	
成績評価方法		脇坂担当分野 50%、草薙・竹内担当分野各 25%(試験 20%、授業に対する取り組みの積極性 5%)	
教科書		浅野嘉延、吉山直樹編「看護のための臨床病態学」(南山堂)	
参考図書等		「看護学テキスト NiCe 病態と治療編 5、7、9」(南江堂)	
授業時間外の学習について		参考図書やプリントを用いた予習・復習(計1時間)が必須	
関連科目		144 人体の構造・機能Ⅰ、145 人体と構造・機能本科目、146 人体と構造・機能Ⅲ⇒本科目⇒各専門科目	
備考		実 脇坂、草薙、竹内：医師(医療機関)	